

政務活動報告書

芦塚 典子

日時 平成27年1月19日(金)
時間 13:30~16:30
場所 佐賀県教育会館
主催 佐賀県子ども・若者支援地域協議会
内容 これからの生活困窮支援
講師 明治学院大学准教授 神保 美香

～マトリックス学習法～

マトリックス(matrix)は、ラテン語で、母親のことを言う。命を生み出すことと知識や思考を生み出すことを重ね合わせて、次第に思考したりアイデアなどを創造したりする活動をマトリックスと表現するようになった。

1 「マトリックス学習法」の構成要素

- 学習者
 - ・性格・興味関心 ・キャリア ・倫理観・人権感覚
- 学習領域
 - ・芸術分野 ・科学 ・日常生活
- 学習過程
 - ① 発見・感受 ② 知見・思考 ③ 活動・交流 ④ 内省・評価
- 環境・状況・組織
 - ・働き、形状 ・机椅子 ・形態 ・地域風土 ・組織、仕組 ・人数
- ファシリテーション (facilitation)
 - ・ラーニング (learning 学習) ・クリエイティブ (creative 創造)
 - ・クリティカル (critical 批評) ・マネジメント (management 経営)
 - ・キャリア (career 生き方・進路) ・ダイアログ (dialogue 対話)
- ツール (tool 道具) & メソッド (method 手法) & グッズ (goods 小道具)

2 具体的実践力

- (1) 「親の学び」プログラム & ファミリープログラム
 - ・乳幼児・小学校低学年の親編 ・小学校高学年編・中高生の親編
 - ・中高生編 (①知識編 ②実践編 ③生き方編 ④コミュニケーション編)
- (2) 「コミュニケーション力アップ」
 - アイスブレイクの手法 how to ice break
 - グループアクティビティ group activity
 - コミュニケーショントレーニング communication training
 - ロールプレイ roll play
- (3) 「会議力アップ」
 - ・フレームワーク frame work ・マッピング mapping ・ブレストとランキング
breast and ranking ・オープクエスチョン & クローズドクエスチョン
open question and closed question
- (4) 「地域づくり」
 - ・みんなの思いを形にする方法 合意形成のフレーム 説得から納得へ
 - ・選択理論 (宿命・偶然・選択)

3 実践のヒント

(1) ありの目、鳥の目、魚の目

「ありの目」は、近づいて一つ一つを細かく見る目です。

「鳥の目」は、遠く高いところから全体を見る目、それぞれの関係を見る目です。

「魚の目」は、時間の流れで見る、過去—現在—未来、ビフォー・アフターの目です。

(2) オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン

「オープンクエスチョン」とは、学級の中の多様な考え方を引き出す質問です。

「そして」「それから」「外には」という問い方です。質よりも数量を大切にします。

「クローズドクエスチョン」は、「6W1H」で問う方法です。答えを、正確や優れた意見に絞り込んでいきます。オープンクエスチョンを行った後にクローズドクエスチョンを行うと効果的な話し合いができるようになります。

(3) ロジカルシンキング(演繹・帰納)とラテラルシンキング(創造・想像)

ロジカルシンキングは、物事を論理的(帰納法・演繹法)・科学的・現実的に考える方法です。

ラテラルシンキングは、非現実的に考えたり、アイデアやデザインを大切にしたい思考法です。

ひらめきや直観、ユニークさを大切にする思考法です。

(4) フレームワークとマッピング

フレームワークは、表を用いて分類整理したり、時間軸で考えたり、分布や関係性を考えたりしながら全体を把握する思考法です。

マッピング法とは、図や矢印を使って、一つのキーワードから、たくさんのことを連想し発展させながら全体を把握する思考法です。

(5) スピーチとトーク

スピーチは、自分の考えをいかに相手の心に響くように創意工夫して伝えるか。

プレゼンテーションの中心となる部分でもあります。

トークは、あるテーマの中で、みんなの考えを出し合って、お互いの考え方を知り認め合う話し合いです。たくさんの意見の中から、合理性、緊急性、重要性などを視点にして一つに絞って行く話し合いのことを、ディベート・ディスカッションと言います。

(6) クエスチョンとインタビュー(ダイアログ)

クエスチョンは、自分の疑問や問題を解決するために、相手に対してする言葉です。

インタビューは、お互いの考えや意見を聞きあう双方の意見交換です。

クエスチョンは一方通行、インタビューは双方向の話し合いです。

(7) ソクラテスマソッドと守破離メソッド

「ソクラテスマソッド Sokrates methods」とは、6W4H(WHAT, WHO, WHEN, WHICH WHERE, WHY, HOW, HOW TO, HOW ABOUT, HOW MANY)を使って、生き方進み方を考える西洋的思考法学習法です。

「守破離メソッド」とは、師匠の技を盗み、まねながら技を身に付けた上で、独創的な技を創造する学習法です。論文・素読は守破離メソッドということになります。

(8) アリストテレスのコミュニケーション Aristotle's communication

① エトス(信頼) ② ロトス(論理性) ③ パトス(情熱)

(9) クリティカルリスニングとポジティブリスニングとアクティブリスニング

critical listening positive listening active listening

クリティカルリスニングが、批評的・分析的・検証的に受け止め、たくさんの質問を準備する聴き方です。ポジティブリスニングは、受動的肯定的に受け止める聴き方です。

アクティブリスニングは、さらに積極的に聴く手法です。

① 共感: 自分の枠組みでとらえるのではなく、あいての枠組みでとらえる。

② 尊重: 相手のありのままを受容する。

③ 一致: 相手と自分とを重ね合わせる。リスニングは、肯定的に共感したり、うなずいたりあいづちを打ちながら聞くことです。

「親の学び」ファシリテーターの基礎知識

1 人の心の欲求の段階を理解する

(1)「心の土台」をつくる

(2)脳の発達

- ①生命脳(受精後、早期のうちに完成)
- ②本能・情動脳(出産時までにはほぼ完成)
- ③知性・理性脳(出産後も成長し続ける)

(3)「睡眠」と「学力」、「朝食と学力」の関係

- ①セレトニン(覚醒ホルモン)とメラトニン(睡眠ホルモン)
 - ・目覚めとセレトニン(日光を浴びたり、褒められることで増える)
 - ・睡眠とメラトニン(暗くなると、セレトニンがメラトニンに変化)
- ②脳のエネルギー消費
 - ・脳のエネルギー源は、糖分である。朝の朝食(炭水化物)が重要
- ③睡眠時間と初潮の関係
 - ・睡眠時間が短くなると、初潮が始まる。知的・精神的発達とは無関係

2 生きる力を育てる

(1)知識・理解力 / 実践・技術力 / 生き方・倫理観 / 共生・人間関係力

(2)人間関係を築くために必要な技術。(脳学者:茂木健一郎)

- ①自分の気持ちを伝える技術
- ②自分の心をコントロールする技術
- ③状況を判断する技術
- ④問題を解決する技術
- ⑤相手を思いやり仲良くなる技術
- ⑥相手の意見を聞く技術

3 知識基礎社会における必要な対話とコミュニケーション、情報活用能力

(1)「言葉」と「絵」と「文字」の習得

(2)対話は、言葉のキャッチボール、コミュニケーションは心のキャッチボール

- ①小説家:三浦綾子の綴り方教室
 - ・人は、表現の上手な手紙より、心のこもった手紙がうれしい
- ②国文学者:金田一秀穂の「正しい日本語」と「適切な日本語」
 - ・「持ってけ泥棒!」「ありがとう!」乱暴な言葉も時と場合によっては心地よい
- ③差別発言はしていなくても、差別的意味を持つ言葉や態度がある
- ④「絶対」と「原則」の違い
 - ・「暴力」「いじめる」(絶対ダメ)と「うそをつく」「だます」(原則としてダメ)
- ⑤「優しい」ことは、「優れている」こと 「優れる」ことは、人を思いやること
 - ・「信」という字は、「人」の「言葉」と書く、人々が交わす言葉から信頼が生まれる

(3)「聞いてあげる、話してあげる」

- ①CDによる上手なプロの読み聞かせより、下手でも親の生の読み聞かせが良い
- ②人見知り、自我の目覚め
 - ・親子の二人関係に十分満足した後には社会性が芽生えてくる
- ③クエスチョンとインタビュー
 - ・クエスチョンは聞き手の問題解決、インタビューは相互理解
- ④孤独(ロンリー)から個独(コクーン)へ 一人を好む子どもが増加
 - ・他人と繋がることの拒絶(DV・いじめによる人間関係拒否)
- ⑤顔の見えるチームワーク社会から、顔の見えないネットワーク社会の増加
 - ・現実社会から非現実社会へ、ゲーム社会に夢中、ネット社会へ逃避

4 心には、マインドとハートがある

- ①メディアは、マインド育成は得意だが、ハート育成は苦手
- ②経験不足は知識で補えるが、経験自体を知識で置き換えることはできない

ファシリテーション・ファシリテーター

ファシリテーション (facilitation)

物事を容易にすること、物事を容易にする方法

Facilitate : to facilitate an action or process , especially one that you would like to happen , means to make it easier or more likely to happen .

少し硬い言葉ですが、日本語で「促進する」といったところでしょうか。

もう少しピンとくる日本語が欲しいところですね。

定義としては、何かを「支援」と「促進」することをファシリテーションとしています。

この技能を使う人、もしくは容易にすることを行う人を

ファシリテーター (facilitator) と呼ばれます。

ファシリテーターは何を促進しているのでしょうか。

ワークショップファシリテーターという表現で、ワークショップを促進させるのは、有名です。

最近、注目されているのは、会議、組織運営、協働、問題解決、等の分野です。

ファシリテーターは、会議等を促進させるために、どのようなことを行うのでしょうか。

・場の管理

・流れ(プロセス)の管理

物事や話し合いなどのファシリテーションは、進め方やプロセス、支援に対する知識や技能だけあれば良いわけではありません。

自分の個性(スタイル)を使って、自分の考え方(マインド)に基づいて、その場に対する立場(スタンス)をわきまえて、技術を使うなり準備をするなり進行するなりします。

対話の中で対立が起これば、対立を解消させることも必要かもしれません。

<インプレッション>

子育て支援員研修制度は、平成27年度より「子ども・子育て支援新制度」が施行される予定になっており、小規模保育、家庭的保育、ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点等の事業が新たに子ども・子育て支援法に基づく給付対象となることから、これらの事業が拡大され、事業に従事する人材の確保が必要になってくる。また同時に社会的養護の充実については、より家庭的な教育環境の整備を推進することとしている。子育ての問題は、時代の変遷とともに生活環境や住環境が変化し、変化する社会の中で、どのように子どもたちを健全で健やかに育てていくことは、情報、知識、スキル、能力とあらゆる方法・手段を用いて地域社会の協力と支援が必要になってきている。このような子育て環境において、子育て中の母親や父親の育児に、育児経験豊富な主婦だけではなく、あらゆる地域の人材に、子育て支援のカリキュラムに参画でき、地域の子ども・子育て支援活動に加わる仕組みは必要である。

今日のカリキュラム:ミーティングファシリテーションは、家庭教育支援員となるためのパーソンとしてのスキルアップであり、研修はワークショップ形式で、またカフェ形式のワークであり、実践に繋がる方法を習得した。

ミーティングファシリテーションは、会議・研修の効果的な会議にするための一つのスキルと言える。無駄な会議から効果的な会議・研修に変えるには何をすべきか? 創造的な会議にするにはどんなアプローチをすべきか? 会議・研修のテクニックを学ぶことができた。

ファシリテーションあるいはファシリテーターとしての、会議や研修の場でのスキルアップポイント(ビフォー・オープニング・インストラクション・クロージング・アフター)と5つのステージでやるべきことを習得した。会議・研修・相談の機会に効果的に活用することを学んだ。

会議・研修をより効果的にするための論点設計をイシューツリーによって活用することを学び研修の成果を今後の子ども・子育て支援員としての活動に活かすことを実践として学んだ。